

令和2年度 施策評価シート

第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち				
	3 広域的な視点に立ったまちづくり				
施策名	(1) 連携して取り組む広域行政の推進				
施策コード	4-3-1	施策構成	3 事務事業	決算額	439,050 (千円)

目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	他自治体と連携や協力が行われていると思う町民の割合	%
②	客観指標	広域で行っている事業数(経営政策課)	件
③			
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	14.6	15.3	19.4	17.5	19.4	—	↗	—		
②	16	16	17	18	18	18	20	50%		
③										
④										

施策における総括

前年度までの課題	糟屋中南部広域連携プロジェクトでは外国人との共生に関する研究会を設置し、広域連携を視野にいたした調査研究を行う。 今後、国のマイナポイントによる消費活性化策やマイナンバーカードの保険証利用が開始される。国の動向を注視し、住民の方への分かりやすい説明を行うとともに、マイナンバーカードの普及促進に取り組む必要がある。
今年度の取り組み(成果、効果)	福岡都市圏では令和3年度から始まるふくおか都市圏まちづくりプランを策定した。国の普及推進事業によりマイナンバーカードの申請が激増したため、専用ブースの設置や休日開庁や夜間窓口を行った結果、マイナンバーカード交付率は30.2%となり、国や県の交付率を上回った。
次年度以降に改善すべき課題	共生社会、脱炭素・循環型社会など、まちづくりプランの新たな方向性のもと、具体的な取り組みについて検討する必要がある。 国のマイナポイントによる消費活性化策が終了し、伸び率は鈍化すると予想される。近隣自治体と協力し、保険証利用の広報などさらなる普及促進に取り組む。

総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。		②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。	○	③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。